

外皮消毒剤

指定医薬部外品

速乾性擦り込み式手指消毒剤

カネパスVD

(エタノール 76.9~81.4 vol%含有)

ヒアルロン酸
配合



300mL



500mL



1L



5L

特 徴

- ノロウイルス（ノンエンベロープウイルス）、インフルエンザウイルス、O-157など広範囲な微生物に対して、迅速な消毒効果を発揮します。
- ヒアルロン酸を配合しているため、手指に優しい消毒剤です。

製造販売元
兼一薬品工業株式会社
大阪市西淀川区姫島3丁目5番23号
OSAKA KANEICHI PHARMACEUTICAL CO., LTD JAPAN

指定医薬部外品

外皮消毒剤（速乾性擦り込み式手指消毒剤）

カネパス VD

KANEPAS VD

承認番号 22700DZX01734000

承認年月 2015年 10月

販売開始 2015年 10月

火気厳禁

第4類アルコール類
水溶性 危険等級II

使用上の注意



してはいけないこと



（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる）

- 次の人は使用しないこと
患部が広範囲の人、深い傷やひどいやけどの人
- 次の部位には使用しないこと
損傷のある手指・皮膚・口唇等の粘膜の部分、目の周り
（局所刺激作用があります）

相談すること



- 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - 医師の治療を受けている人
 - 本人又は家族がアレルギー体質の人
 - 今までに薬や化粧品等によるアレルギー症状（例えば、発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等）を起こしたことがある人
- 使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ

効能・効果

手指・皮膚の洗浄・消毒

用法・用量

そのまま手指に塗布又は塗擦
<用法・用量に関連する注意>

- 定められた用法・用量を守ること。
- 本剤は希釈せずに原液のまま使用すること。

- 血液や汚物等が付着している場合には、石ケンで良く洗浄してから使用すること。
- 同じ部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
- 小児に使用させる場合には、特に注意し、保護者の指導監督のもとに使用させること。
- 目に入らないように注意すること。万一、目に入った場合には直ちに水又はぬるま湯で洗うこと。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けること。
- 本剤は外用にのみ使用し、内服しないこと。

成分

有効成分としてエタノール（C₂H₆O）76.9～81.4vol%、添加物としてグリセリン、クエン酸水和物、ミリスチン酸イソプロピル、N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-L-アルギニンエチル-DL-ピロリドンカルボン酸塩、硫酸亜鉛水和物、ヒアルロン酸ナトリウムを含む。

保管及び取扱い上の注意

- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる）。
- 直射日光の当たらない、なるべく涼しい所に密栓して保管すること。
- 本剤はアルコールを含有しているため、床にこぼれると変色する場合がありますので注意すること。
- 使用期限の過ぎた製品は使用しないこと。
- 火気を近づけないこと。

包装・梱包・JANコード

包装	梱包	JANコード	
300 mL	10本入	4987556235024	(ポンプ付)
500 mL	10本入	4987556235031	(ポンプ付)
1000 mL	10本入	4987556235048	(ポンプ付)
5 L	3本入	4987556235055	(コック付)

消毒効果 (in vitro試験)

カネパスVDのin vitroにおける消毒効果について試験した結果、いずれの供試菌に対しても15秒以内で消毒できることが確認されました。

供試菌		殺菌時間
グラム陽性菌	黄色ブドウ球菌 (<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC25923)	15秒以内
グラム陰性菌	大腸菌 (<i>Escherichia coli</i> ATCC25922)	15秒以内
	緑膿菌 (<i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC27853)	15秒以内
	変形菌 (<i>Proteus mirabilis</i> TOH0140512)	15秒以内
	肺炎桿菌 (<i>Klebsiella pneumoniae</i> TOH0140502)	15秒以内
真菌	カンジタ菌 (<i>Candida albicans</i> TOH0140801)	15秒以内

<東邦微生物病研究所>

ウイルス不活化効果 (in vitro試験)

カネパスVDのin vitroにおけるウイルス不活化効果について実使用を想定した条件(タンパク質負荷条件)で試験した結果、いずれの供試ウイルスに対してもウイルスの感染価の減少率(不活化率)99.5%以上減少できることが確認されました。

供試ウイルス		不活化率 (%) 〔作用時間〕
ノンエンベロープウイルス	ネコカリシウイルス F-9 (ノロウイルス代替) <i>Feline calicivirus</i> F-9 ATCC VR-782	>99.97 〔15秒〕
	アデノウイルス 5型 <i>Human adenovirus 5 adenoid</i> 75 ATCC VR-5	99.50 〔30秒〕
エンベロープウイルス	インフルエンザウイルス A (H1N1) 型 <i>Influenza A virus (H1N1)</i> A/PR/8/34 ATCC VR-1469	>99.99 〔15秒〕

<日本食品分析センター>